

# 合併時から現在までの財政状況について

阿 南 誠 藏



阿南 合併後の財政状況について、主な財政指標の動向を踏まえて伺いたい。

坂梨総務部長 合併時の借金が146億9千万円あり、昨年度末までに8億4千万円削減しました。一方、社会保障関係（扶助費、特別会計、その他）で約7億円増加しており、今後は内部改革をさらに進め財政の建て直しを行っていきます。

阿南 財政課として、現時点でどのような認識を持つているか。

和田財政課長 指定管理者の導入、

通常経費の節減等により、物件費を約2億円削減しています。職員一人ひとりが無駄を省き、住民サービスの低下にならないよう努めています。阿南 三位一体改革による地方交付税、国庫負担金などが削減され、地方経済の状況は極めて厳しい。本市においても例外ではないが、節減合理化に取り組んできたことで、住民サービスの低下をまぬかないよう

努力している。合併特例債はこれまでに約20億円を使い、残りが98億円あるが、約40%は市の負担であるため、十分検討して今後活用すべきと思うが。

市長

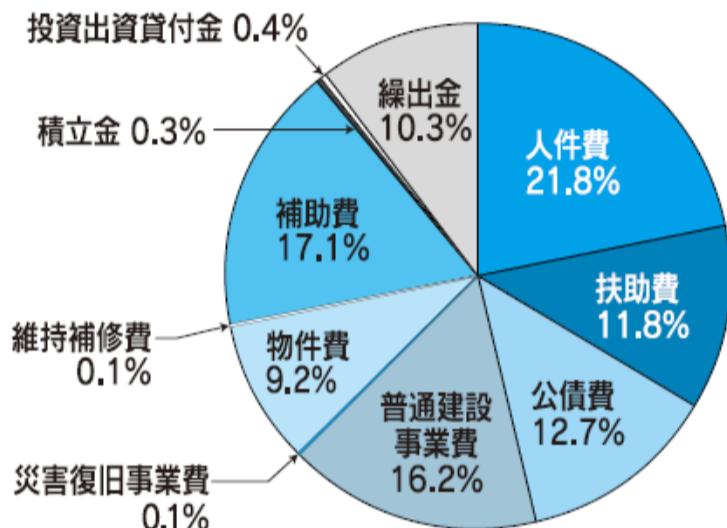
少子高齢化、住民のニーズ、財政の行き詰まり、社会構造の変化により、国の指導のもと合併して早く4年目を迎えました。特例債は毒にも薬にもなり、薬にするためには市民の皆さん方が安心安全に、また命を大事にしていく基本的なところに使っています。

五嶋

これまでにも多くの議員から質問があつており、阿蘇の中核の病院は必要があるので、じっくりと構えて建設設計画を考えていいくとの回答であったが、今回は具体的な建設計画をお尋ねしたい。

市長 中央病院については、中央病院経営検討委員会というものをつくりました。その中の最終答申が、接遇の問題と老朽化に伴う建替修理の件でありました。接遇の問題は、病院内で鋭意努力をして少しずつ良くなっているとの評価もいただいています。もう一つの老朽化に伴うことです。病院が出来ても、医師がいなければどうにもなりません。熊大病院との連携の企画を望み、脳外科と循環器科については、協力して救急医療体制も兼ねた地域完結型病院を一緒に造ろうということで、医師の確保が見えてきたところです。これから建設準備委員会なるものを立ち上げて、阿蘇の中核病院として市民の

平成19年度普通会計歳出決算状況



# 阿蘇中央病院について

五嶋 義行



命を守る病院再生に粉骨碎身努力します。

五嶋 その場合、建設方法としては、合併特例債等を使った阿蘇市独自の建設か、もしくはPFI方式（民間資本の活用）か、熊大の付属病院としてか。それをいつまでに。

市長 PFI方式は病院にはすぐわないのでないかと思います。建設のための懇話会を早く立ち上げて、3月までには日処を立てて次の段階にいきます。



阿蘇中央病院受付

# 市営住宅について

宇野治雄



るのか。

建設課長

滯納者に対する徴収を強化します。悪質と思われる者に対しては、明け渡し請求とか裁判所への支払督促命令の法的手続き等を今後実施します。

宇野

市営住宅に入居する際に、契約「請書」を締結し、連帯保証人が必要であるが、その連帯保証人の死亡等で条件が変わったときは、遅滞なくその旨を届けなければならぬことなっている。これに間違いはないか。

市長 公営住宅法の適用を受けることから、内部で検討したいと思います。

塚本建設課長

現在、家賃の未納者はおられるか。

宇野

建設課長 平成19年度分の滞納者は136人で滞納額は576万円となつておおり、過年度分の滞納額は1405万円であり、合算しますと1981万円となっています。

宇野

建設課長 約2千万円の滞納額があるが、その滞納者の保証人は健在であるのか、また保証能力はあるのかを把握されているか。

宇野

建設課長 連帯保証人の死亡や保証能力などの資格変更については、原因発生時の把握が困難な状況です。策については、どのように考えてい



新小里団地建築工事風景

# 安全で安心なまちづくり 携帯電話のエリア整備の推進について

高宮今朝秀



を提出しましたが、各社からの回答は厳しいものでした。こうした地域への基地局建設には国の補助事業があるので「深葉、荻の草地区のエリア整備要望書」を今年5月、県を通じて提出していますが、電話会社の一部負担もあるとのことで、会社と交渉しています。

高宮

阿蘇市内において、携帯電話の電波が届きにくい地域はどのくらいあるか。

佐藤総務課長

各区長さんを通じて調査したところ、現在9地域あります。しかし、来年7月までには波野地区において携帯電話の基地局が建設される予定とのことで、その後は深葉、茗ヶ原、舞谷、荻の草、山崎の5地区となります。

高宮

近年、想像を絶する地震規模の大災害が起きており、中国四国省、わが国では岩手・宮城の大地震やゲリラ豪雨による命をも奪う大水害等、道路・通信網の遮断で連絡の術を失い、被災地は「陸の孤島化」が度々報道されている。そのとき最も頼りになり活躍するのが携帯電話であるが、この5地区への対応は。



宮地地区携帯電話無線中継所

他に「阿蘇市防災行政無線の運用について」質問がありました。

総務課長

今後も携帯電話事業者に対し働きかけていきます。